

キャラクター名	プレイヤー名
早乙女 涼真(サトメ リョウマ)	

シンドローム	エグザイル サラマンダー		ワークス	不良高校生	カヴァー	真面目な高校生
	オプショナル		年齢	15歳	性別	男
覚醒	感染	衝動	憎悪	初期侵食率	70%	
出自	結社の一員	経験	絶縁	邂逅	自分の中にいる者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	5		調達		
運転：二輪	2		芸術：			知識：			情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
骨の剣+死招き(100↓)	白兵	9r+5	6	42/51		※煉獄魔人込み
(100↑)	白兵	10r+5		49/98		/右 ポルターガイスト前提
コロリン込み	白兵	10r+5		147/159		馬鹿力

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
思い出の一品					
コネ：噂好きの友人					
ロイス		最大財産P:	4	残り財産P:	1
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費	
遺産継承者：イフリートの腕	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
先陣の火	2	2	セットアップ					
効果：	行動値Lv*5 シーン1回							
氷熱の軍団	5	10	インシテブ	視界	シーン(選択)	自動	120%	
効果：	R間、攻Lv*4 シナリオ1回							
氷の回廊	1	1	マイナー					
効果：	飛行 +lv*2m							
骨の剣	3	3	マイナー					
効果：	Lv*2+5							
死招きの爪	4	4	マイナー				リミット	
効果：	LV*5							
コンセ:サラマンダー	2	2	Xジャー					
効果：								
炎神の怒り	3	3	Xジャー					
効果：	+(lv+1)D HP3消費							
煉獄魔人	3	3	Xジャー				リミット	
効果：	攻+lv*3 HP消費無し							
ブレインハック	1	10	Xジャー					
効果：								
ジャイアントグロウス	1	5	Xジャー				100%	
効果：	範囲化+2D シナリオlv回							
異世界の因子	1	5	オート				80%	
効果：	エフェクト取得 シナリオ1回							
歪んだ腕	1	7	オート				120%	
効果：	行動値0で未行動 シナリオ1回							
デビルストラング	3	6	オート					
効果：								

悪魔崇拝者たちによって、悪魔の降臨に成功したが使役する事は叶わず……
 悪魔を宿すことで悲しみを感じづらくなっている。
 怒りの炎、陽光のレネゲイドをその身に宿す。
 宿主の腕を異形のそれへと変貌させる。

■人物
 一人称：僕 →俺。成績普通。モデル体型。表情は乏しい。中性的でダウンナーな雰囲気、不気味なほど目を引く高APP(ニヤル的な)。
 ■生い立ち
 両親は、表向き世間でも有名な新興宗教を運営。父は創始者であり総裁。実情は裏社会にも幅を利かせるカルト宗教であり、経済面において暗い部分が多い。さらに知られざる情報として、父親がオーヴァードであり、レネゲイドを介して人知を超えた存在との交信を日論む狂人でもある。彼は経済力を駆使して、秘密裏に遺産などの物品を収集している。この時点ではUGNとの関与は無く、FHとのみ取引関係があった。
 一人息子であるPC3は、父親から遺産の依代として期待を受けており、真実を知らされることなく、十分な教育と歪んだ愛情を受けることとなった。父からは、選ばれた子供であること、将来は総裁の地位を継ぐ者であることを教えられ、そういうものかと思っていた。
 中学卒業を目前に、父から神聖なる力を得る儀式と偽られ、遺産との適合を実施された。それは成功したがPC3は暴走してしまう。とめどない怒りに支配され、父も、狂信者たちも、何もかもを殺害した。理由は遺産によって悪魔が憑依したため、その悪魔は常に怒り狂いこの世の全てを憎んでおり、憑依した対象に強大な力を授けるとともに、自らの悪意をばら撒こうとしている。
 PC3は意識を失っていたため、当時のことを全く覚えていない。悪魔も衝動を解放したことで、冬眠状態に入っている。後日UGNの介入があったが、その技術をもってしても、PC3からはレネゲイドを検出できず、父親に利用されそうになった哀れな被害者として処理された。そして、事件は総裁による信者の宗教的な殺人というシナリオで幕を閉じた。だが、この事件はメディアを大きく騒がせ、連日報道された。
 現在は世間の目を逃れるために、Z県へと引っ越し、母親の旧姓を用いて生活している。Z県立高等学校に入学している。
 今PC3に自覚があることは、父親の不審死、いつの間にか自分の身体に掘られた禍々しいタトゥー、時々鏡や影を見ると自分の後ろに誰がいるような感覚、時々どうしようもなく現れるとめどない怒りの感情。父親は「お前は人を超えた存在になるために生まれたきた」と言っていた。今となってはその真意は分からない

